

ABC東アジア観測実験（ABC-EAREX05）始まる

- 大気の褐色雲の研究 -

韓国済州島を中心とした東アジア域全域を舞台に大気汚染ガスとエアロゾル（褐色雲）とその気候影響研究のための大規模な国際観測実験ABC-EAREX05が始まる。集中観測期間は3月7日から25日までである。

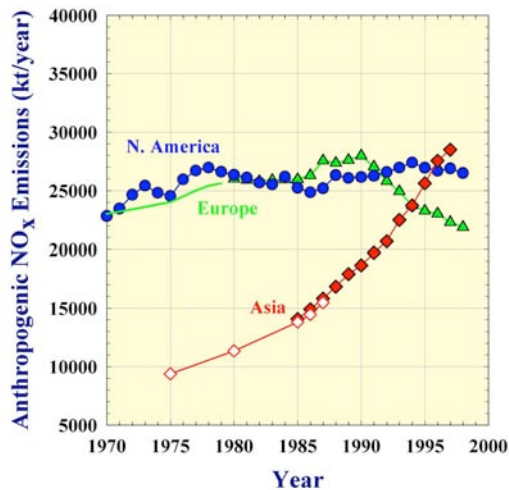
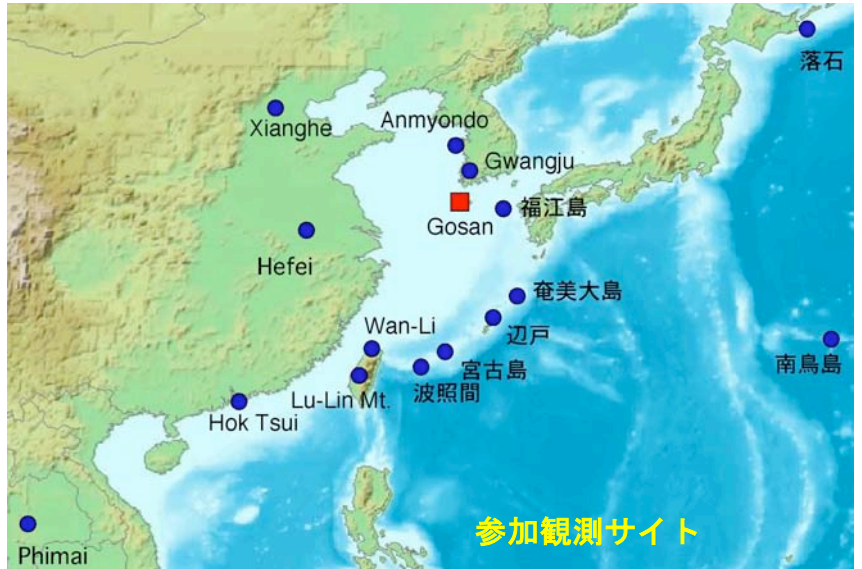
済州島Gosan
サイト



奄美大島
サイト



沖縄辺戸
サイト



ABCとは？ アジア域に厚さ3 kmほどで広がる密度の高い褐色のもや。主に人為起源大気汚染物質や黄砂などの土壌エアロゾルである。国連環境計画（UNEP）ではABCを長期モニタリングするABC国際研究プロジェクトを開始した。米国、日本、韓国、中国などが参加。

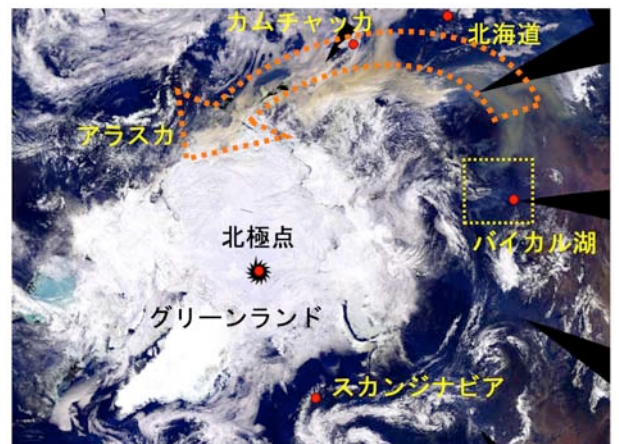
なぜアジアか？ 世界の人口の半分を抱えて経済成長を続けるアジア域の環境問題と気候影響問題は深刻である。しかし、その実態は良く把握されていない。（左図：他の経済セクターに比べて増え続ける汚染物質の排出、地球フロンティア研究センター 秋元 肇博士提供）

EAREX05観測実験とは？ 済州島Gosanサイトを始めとする東アジア域の観測網でABCを観測するUNEP/ABC国際局地観測実験。2005年3月7日から25日が集中期間である。Gosanサイトには測器比較のために各国から観測機器が持ち寄られる。衛星観測やモデルシミュレーションも同時に実施され、東アジア域のABCの実態と気候・環境影響を把握する。国際研究チーム代表は中島映至（東京大学気候システム研究センター長）とSoon Chang Yoon（ソウル大学教授）。UNEPのほかに世界気象機関WMOも参加する。

日本側参加機関：東京大学、国立環境研究所、気象研究所、地球フロンティア研究センター、宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター、総合地球環境学研究所、千葉大学、名古屋大学、北海道大学、富山大学等

連絡先：中島映至 (teruyuki@ccsr.u-tokyo.ac.jp)
島山史郎 (国立環境研究所 hatashir@nies.go.jp)

本記事電子版掲載先：<http://ABC-Gosan.snu.ac.kr/>



みどり2号衛星GLIセンサーが独自の紫外線観測で捉えたロシア森林火災ABC。2003年5月19日の画像。ABCは長距離輸送され全球の気候・環境にも影響を与える。（宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター提供）